

講演	『長寿・子宝の島の意味』 ～10年後の天城町はどうなっているか？～ 樺山歯科医院 森下 達夫氏
開催日	平成22年6月30日
参加者	約150名
講演	『食べものにはドラマがある』 ～心を育む食と農～ NPO法人霧島食育研究会 代表 千葉 しのぶ氏

(3) 料理研修会の開催

- ① 飲食店対象の料理研修会の実施（計2回開催，参加者18名）
講師：(株)新穂花 代表取締役 久留 ひろみ氏他1名
- ② 一般対象料理研修会の実施（計2回開催，参加者45名）

(4) 観光案内板の設置（当部集落）

当部集落は，長寿食材の宝庫であり，またアマミノクロウサギなどの生物多様性に富んだ地域であり，体験型観光の情報発信となり旅行者に対してPRを実施

(5) 観光と食マップの作成

「ユイと癒しのまちおもてなしガイドマップ」を作成

- ・A4サイズリーフレット 10,000部
- ・A2サイズリーフレット 20,000部

町内の世帯，島内の観光施設等へ配布

2 事業成果

- (1) 町の食材を掘り起こし，地場産食材のすばらしさを地域に伝えることができた。
- (2) ガイドマップの作成により，長寿食材の認知度を上げ，健康長寿の島としてのイメージを高めることができた。



【ガイドマップ】



【郷土料理取材(ケーブルテレビ)】

【平成23年度】

1 事業内容

- (1) 料理レシピ集の作成【10,000部】
島内外へ広く配布
- (2) 地域リーダー研修
グリーンツーリズム民泊の視察研修
平成24年3月14日(水)～15日(木)
訪問先 さつま町役場 さつま町農家民泊
参加人数 5名

2 事業成果

- (1) 手軽さ・簡便さをコンセプトとして、主婦だけではなく老若男女問わず活用していただける冊子として、町内だけでなく島内外で好評いただき、長寿食である郷土料理を広く周知することができた。
- (2) 農村に滞在しバカンスを過ごすという余暇の過ごし方の魅力を体験することで、今後の事業の参考にできた。



【レシピ集】



【グリーンツーリズム民泊の視察】

【平成24年度】

1 事業内容

- (1) 特産品フェア等でのモニタートライアルの実施
 - ・平成25年2月2日～3日
「奄美の観光と物産展in博多」(福岡市博多駅博多口駅前広場)
 - ・平成25年3月7日～8日
株式会社丸栄設立70周年記念「第53回大鹿児島展」(名古屋市)
- (2) モニターアンケートの実施
 - ・スポーツ合宿で天城町に滞在する選手対象
平成25年1月から3月
実業団陸上部, 野球部 (16団体)
 - ・郷友会の会員
平成25年2月から3月

2 事業成果

- (1) 島外での物産展に商品の加工者に参加してもらい、商品の説明をしながら消費者の意見を直にアンケートで聞くことができ、今後の商品づくりの参考にできた。
(味や価格は概ね好評であったが、商品のパッケージのデザインなどについての厳しい意見があった。)



【大鹿児島店の様子】

イ ア以外での自主的な取組

「長寿・子宝」のまちづくりの促進				
住民主体の活動に対する支援	・提案型まちづくり交付金として各自治会独自のイベント等に支援 (H23年度～)			
長寿・子宝の要因となる地域資源を活用した健康づくり教室やイベントの開催	・徳之島民謡大会 (徳之島3町：毎年持ち回り) (H25年度)			
地域コミュニティ活動の活性化に向けた支援	・西阿木名集落の児童生徒を対象に古来の追いこみ漁を実演し、伝承することによる世代間交流 (H25年度) (青年団主体)			
プロジェクト開始(H16年度)以前、生産・栽培を奨励している食材	マンゴー, たんかん, ごま			
	品名	年度	生産量(t)	
	マンゴー	H15	25.0	62,500
		H24	40.0	120,000
	たんかん	H15	45.0	18,000
		H24	46.5	18,600
ごま	H15	0.0	0	
	H24	6.2	12,400	
子どもから高齢者まで各世代に応じた食についての学習の場	・様々な活動されている体験を元に、地域に根ざした食育活動の実践例の講演 (H24～25年度) (町農政課主体)			
学校給食における健康郷土食材の提供や親子郷土料理教室の実施	・地場産の食材提供 (H16～19年度) (町教育委員会主体)			
食改善推進委員等を活用した伝統的な食文化や長寿食材の普及事業	・「青年ふるさと大会」において、小中高校生を対象に郷土料理の作り方や試食を実施 (H24年度) (子ども会育成連絡協議会)			
若い世代への伝統文化等の伝承団体	・「前野民謡保存会」 稲の植え付け・収穫の際に踊り歌う町指定文化財である前野田植唄を伝承			

「長寿・子宝」産業の振興											
長寿・子宝を支える資源を使って開発した特産品に係る支援体制	・松原農産物加工組合が開発した商品 (パパイア等活用) の販売促進の支援 (町主体) ・天城町熱帯果樹生産組合女性部が県と連携し加工開発した、ドレッシングとジャム (マンゴー, 島みかん活用) の開発支援 (町主体)										
開発した特産品の島内外における長寿・子宝ブランドとしてのPRの実施	・大鹿児島展への特産品 (サトウキビの真空パック詰め) の提供・PR (H19～20年度)										
直売所の設置	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">直売所の設置数</th> <th rowspan="2">直売所の名称</th> </tr> <tr> <th>16年度以前</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か所</td> <td>3か所</td> <td>かあさんの店みどりや, 空の駅, ゆいの広場</td> </tr> </tbody> </table>			直売所の設置数		直売所の名称	16年度以前	25年度	3か所	3か所	かあさんの店みどりや, 空の駅, ゆいの広場
直売所の設置数		直売所の名称									
16年度以前	25年度										
3か所	3か所	かあさんの店みどりや, 空の駅, ゆいの広場									
特産品等の流通・販売活動の支援への取組	・起業家支援対策事業 (平成20年度) (町主体)：新規に空き店舗等を活用した起業を行う者への助成										

癒し・健康にあふれる観光の振興	
ツアーガイド, インストラクター等	・奄美ミュージアム人材育成事業 (16～20年度) (奄美群島広域事務組合主体) ：約20人受講

(注) 上記は、平成25年度に県が奄美群島内の市町村を対象に実施した「あまみ長寿・子宝プロジェクトの成果等に関する調査」で把握した各市町村における取組のうち、あまみ長寿・子宝プロジェクトにおいて実施された事業を除く取組である。

⑨ 伊仙町

ア 巡るいのちのキョラジマ創造事業の取組及び成果

事業名	健康長寿と癒しのまちづくり事業（スローライフな長寿の島）										
事業年度	平成18年度										
事業目的	<p>地場産の長寿食材等を使って、高齢者や若い世代、民間業者等と協力して、伝統料理の継承だけでなく、これまでにない新しいメニューや特産品等の開発、販売等を促進することで、産業・観光の振興を図る。</p> <p>また、町内の小中高校生を対象として、食生活実態調査の実施等、健康長寿の後継者を育成するなど「健康長寿と癒しのまちづくり」を推進する。</p>										
事業内容及び事業成果	<p>1 事業内容</p> <p>(1) 伝統食の継承と現代版長寿メニュー等の開発</p> <p>① レシピ集作成委員会の開催（計6回開催）</p> <p>② 長寿食料理教室の開催</p> <p>③ アレンジ料理研修会の実施（2回）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 60%;">講 師</th> <th style="width: 30%;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>「新穂花」久留 ひろみ氏</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>「美ゆらYUJIN」林 秀作氏、依田 哲也氏</td> <td>100名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 長寿食材や地場産製品の生産・普及・販売促進</p> <p>① 「食レシピ集」の作成及び町内の全小中学校の生徒、関係者等への配布</p> <p>② 第1回「いせん・食の文化祭」における島食材を使った料理の発表</p> <p>③ 生活研究グループ、食改善推進員等が加工技術や保存技術などを含めた商品開発や販売についての研修を受講</p> <p>(3) 長寿後継者育成のためアンケート「伊仙町民の健康に関する生活習慣行動調査」の実施及び推進体制の整備</p> <p>2 事業成果</p> <p>長寿食材の町における認知度が高まり、長寿食材の消費拡大、食を通じた伝統文化の継承に寄与した。</p>			講 師	参加者	第1回	「新穂花」久留 ひろみ氏	40名	第2回	「美ゆらYUJIN」林 秀作氏、依田 哲也氏	100名
	講 師	参加者									
第1回	「新穂花」久留 ひろみ氏	40名									
第2回	「美ゆらYUJIN」林 秀作氏、依田 哲也氏	100名									

事業名	くわーど宝 ※「くわーど宝」…「子は宝」	
事業年度	平成19年度～20年度	
事業目的	<p>食農教育を学校教育の中に組み込むことで、食の重要性や健康について学び、子どもから親や地域に発信することで、本当の「健康長寿いせん」を確立する。</p>	
事業内容及び事業成果	<p>【平成19年度】</p> <p>1 事業内容</p> <p>(1) 農業体験の実施 各小中高校生（10校，583名）を対象に、田植え，きび植え，バレイショ植え，黒糖づくりを体験</p> <p>(2) 栄養教室の開催 長寿食材の普及指導，地産地消の学習，栽培した長寿食材などを活用した調理実習等を体験（6回開催）</p> <p>(3) 「食育」活動の地域への普及</p> <p>① 食育推進協議会の立ち上げ（50名）</p>	

- ② ウォーキングと長寿食祭(300名)
- ③ 産業祭及び食の文化祭(800名)
- ④ 各小中学校への食育に関する出前授業の実施（7校，670名）
（講師）

環境省近畿地方環境事務所 温暖化対策普及促進専門官 中尾 卓嗣氏

2 事業成果

食育推進協議会の立ち上げなど行政が各課や部署を超えて、広く食育に取り組める体制を整えることができた。

また、産業祭や文化祭などにおいて、「食育」活動の取組状況について、発表する機会を設けることで、子ども達の農業や食育の大切さを学ぶことができた。

【平成20年度】

1 事業内容

(1) 農業体験の実施

町内全小中学校を対象に、基幹作物であるさとうきびや馬鈴薯等の栽培、収穫、調理、試食、加工等の農業体験を実施

(2) 栄養教室の開催

町内全小中学校でそれぞれ育てた野菜などを用い、食生活改善推進員や地域のボランティアと一緒に調理実習を実施

(3) 徳之島農業高校との連携による加工品等の開発

(4) 「食育」活動の地域への普及

食育に関する講演会の実施（5回開催）

2 事業成果

町内11の小中学校で食農教育を地域を巻き込んで実施し、食の大切さ、島の伝統など地域を学ぶことができた。今後も食育の推進について、各学校が地域と一体となっていける基盤をこの事業で醸成することができた。

事業名	長寿・子宝アイランドとくノのしまプログラム構築推奨事業
事業年度	平成22年度～24年度
事業目的	<p>「長寿・子宝」の要因として考えられる、自然環境・地域力・食生活・暮らし・文化を見直し、その要因を探りつつ、次世代に対してもそれらの地域資源を良い形で引き継ぐための方策と体制作りを目指す。</p> <p>また、平成23年度からは、これまでも伝統食にまつわる事業やヘルスプロモーション事業など、長寿を生んだ温暖な奄美の環境と食文化を生かし、観光と地域産業に結びつく事業が進められ、島民の健康状態に対する認識やそれに対する取組みは効果を上げてきたが、本構想では取組みの軸を「ダイエット」に絞り、島民の健康維持の仕組みを作り上げるとともに、これをパッケージ化して徳之島での体験を商品として売り出し地域経済の浮揚へつなげる。</p>
事業内容及び事業成果	<p>【平成22年度】</p> <p>1 事業内容</p> <p>(1) 食育・直売所“百菜”からの長寿子宝「食」プログラム 農業体験から販売体験の実施（伊仙小学校3年生）</p>

- (2) 長寿の活力を活かした島唄・島踊りなどの「文化伝承」プログラム伊仙町中伊仙地区の踊り「意見口説」の伝承活動（参加者15～50名）
- (3) 徳之島の自然環境と地域力向上
「伊仙町夏休み自由研究プログラム2010」を開催
徳之島の多様な生物について、自由研究を通して発見していく活動
 - ・8月9日～10日（岩石採集）
講師 桑水流 淳二氏（鹿児島県立鶴丸高校教諭） 参加人数24名
 - ・8月21日～22日（植物採集）
講師 山下 弘氏（鹿児島県希少動植物保護審議委員）参加人数16名

2 事業成果

食の安全や伝統文化の継承などをつなげる取組が実現し、高齢者と子ども、または地域の人たちがつながるような活動を行うことで、「長寿・子宝」の資源を活かすことができた。

【平成23年度】

1 事業内容

- (1) ダイエットアイランド米国研修
 - ・日 時：平成24年3月16日～27日
 - ・派遣先：アメリカノースカロライナ州ダーラム
Duke大学 ダイエットフィットネスセンター
 - ・内 容：
徳之島で展開しつつある「ダイエットアイランド」構想の実現化を図るため、Duke大学内ダイエットフィットネスセンターのダイエット体験コースへ人材を派遣。そこでの運営の仕方、大学単体でなく地域としてどのようにダイエットに取り組み産業化しているかの視察を行った。
 - ・結 果：
ダイエット体験ツアーを組む場合、運動と食事に目が行きがちだが、事前の医師による問診や健康状態の把握、また理論的にダイエットや自らの体を知るための知識を習得することに、内容の半分が割かれていることが分かった。また滞在中のみならず、日常の行動をいかに変えるかが大切であり、そのためコース実践者への事後のフォローアップが最も重要であることが分かった。
- (2) 「徳之島丸ごとときゅっきゅっ便」カタログ作成
 - ・作成部数：5,000部
 - ・配布エリア：全国一円
 - ・受注数：620件
 - ・内 容：
徳之島の農産・特産品を紹介するだけでなく、長寿・子宝、トライアスロンや全国オヤジバンドなど、幅広い情報を織り込み、徳之島ファンを獲得する情報で構成。JALの機内や首都圏のホテル、飲食店などに置いてもらうことで、これまで徳之島を知り得なかった方々の目にも届くよう配布に工夫を凝らした。
 - ・結 果：
トータル620件の受注を受けて、年3回の頒布会を行った。これにより情報のみで徳之島を知っていた方々が、味覚を使って徳之島の産品を知ることとなり、この後のダイエットツアーへの勧誘など、大きなファンの獲得へ繋がった。